



へば図書館さ行くべ 最終回

前回までのあらすじ

一年生のサキは、友人ヒロに図書館の利用方法を教えてもらい、無事にレポートを提出することができた。そして時は流れ…

「せ、先輩！助けてください！」

「え？」

勇気を出して声をかけてみたけど、私はすぐに後悔した。先輩のこの驚いた顔…ひよっとして、私の顔を覚えていないのかもしれない。うう、やっぱり話しかけなきゃよかったかなあ。

「えっと、今月からうちのゼミに入っただ3年生の子だよね？どうしたの？」

「いや、その…レポートが、進まなくてですね…」

ゼミの自己紹介の時に、「困ったことがあったら相談してね」って言ってくれた優しい先輩。思いきって声をかけてみてよかった。

「この参考文献が見つからなくて…」

スマホをサツと操作して、参考文献リストを撮った画像を先輩の前に差し出した。

「えっと…図書館は探した？」

「OPACで検索してみたんですけど、

このタイトルの本は見つからなくて」

タイトルが長いから、間違えないように気を付けて入力したけどダメだった。念のため単語を区切って検索してみたけど、それでも見つからなかった。

「これ雑誌論文だから、OPACだけじゃ無理だよ」

「雑誌論文？」

「これたぶん、学術雑誌に掲載された論文だと思うよ。ほら、この二重カギカッコが雑誌名だと思う」

「てことは、こっちのタイトルの、雑誌を探せばいいんですね！」

なるほど、この論文タイトルの「図書」を探していたのがよくなかったんだ。こっちの雑誌タイトルの「雑誌」を探せば…

「待って。その雑誌の何巻何号を探すつもり？」

「へ？」

「雑誌は同じタイトルでずっと継続して発行されているんだよ？何年何月に

発行されたのを探すの？」

「えーっと…？」

しまった。そこまでは書いてない。どうしよう。この雑誌、図書館に何年分あるんだろう。いやそもそも、この図書館になかったらどうしよう。

「じゃあ、C.N.I.で見ようか」

「さいにい？」

「ググればすぐに出てくるよ」

「は、はい」

「ググればすぐに出てくるよ」

「は、はい」

サイニー。あ、カタカナでも出てきた。このサイトかな。

「そこに、論文タイトルを入れてみて。詳細が出てくるから」

「えっと、論文タイトルをコピーして、貼り付けて、検索…あつ、あつた！」

論文タイトルと、著者名と、雑誌のタイトルが表示されている。雑誌タイトルの隣の数字は何だろう。

「じゅういちかっこに？」

「それは、十一巻の二号ってこと。そこに弘大の蔵書を調べるボタンが付い

てるでしょ？」

「弘大、蔵書…これですか？」

慣れ親しんだ弘大のOPAC画面が出てきた。でも、いつも見る図書の表示と少し違う。

「これで、その雑誌が何巻から何巻まで弘大にあるかわかるから」

「一から二十四まであるみたいです。場所は、第二書庫…？」

え、第一書庫なら何度か入ったことがあるけど、第二ってどこだろう。

「第二書庫は初めてだと迷いやすいから、一緒に行って案内しようか？」

「ありがとうございます、サキ先輩！」

どういたしまして、と言って、サキ先輩は照れた感じに笑った。

「へば、今から図書館さ行く？」

終